

「やまなし森林環境教育・木育推進協議会」 設立趣意書

本県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県であり、その豊かな森林は、木材の生産をはじめ、水資源のかん養、災害の防止など、様々な機能を発揮し、県民生活に恩恵をもたらしてきた。

また、地球的規模での気候変動や環境問題等が顕在化する中、森林の持つ温室効果ガスの吸収固定や、生物多様性の保全などの機能やそこで展開される取り組みは、国際社会において進められている持続可能な開発目標(SDGs)の達成に大きな役割を担っていることから、持続可能な森林経営は世界共通の目標ともなっている。

しかしながら、現代社会においては、日常生活の中で森林に触れる機会が減少し、人と森林との関わり合いが希薄化しており、世代を超えた営みである持続可能な森林経営を進めるためには、これまで森林・林業と関わりが薄かった個人や団体など、様々な主体による森林との関わりを深める取り組みが求められ、特に、次代を担う子どもたちの意識の醸成を図っていくことが重要である。

また、こうした取り組みは、企業等におけるSDGsの達成に向けた課題解決や企業価値の向上につながるとともに、持続可能な開発のための教育(ESD)の一環ともなるものである。

このため、教育、産業、行政など幅広い分野が連携し、幼児期から森林や木と関わる環境を提供していくことで、木に対する親しみや森林への理解を深め、木の文化を継承し、森づくりに貢献する豊かな感性を持った人材を育成することを目的に「やまなし森林環境教育・木育推進協議会」を設立する。

令和2年10月16日

発起人代表 (公財)山梨県緑化推進機構会長 山田一功

- ・(公財)オイスカ山梨県支部会長 金丸信吾
- ・(公財)キープ協会理事長 浅田豊久
- ・甲府商工会議所会頭 進藤中
- ・富士吉田商工会議所会頭 堀内光一郎
- ・富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合組合長 渡辺正志
- ・山梨県公立小中学校長会会長 内藤伊久磨
- ・(公社)山梨県私学教育振興会理事長 川手佳彦
- ・山梨県商工会連合会会長 中村己喜雄
- ・(一社)山梨県森林協会会長 辻一幸
- ・山梨県保育協議会会長 廣瀬集一
- ・(一社)山梨県木材協会代表理事 天野公夫
- ・山梨県森林環境部林務長 金子景一